



秋情協 ニュース

2014.3

⑥4

一般社団法人 秋田県情報産業協会
〒010-1623 秋田市新屋字砂奴寄4-11
秋田県産業技術センター内
☎018-862-9820(FAX兼用)

新春講演会及び交流会開催される



近藤和生会長挨拶



県企画振興部黒木次長挨拶



NEXT5 シャングリ・ラ



福祿寿 一白水生

目次

●新春講演会及び交流会開催	1
●新春講演会及び交流会	2
●第5回理事会開催	2
●委員会報告	3
●「第20回秋田県ソフト大賞」	4
●第23回ボウリング大会	6

新春講演会及び交流会

会員の皆様の新たなビジネス展開と当協会の更なる発展を願い、1月17日(金)アキタパークホテルにて講演会(第2回地域連携セミナー)と交流会を開催しました。ご来賓の秋田県企画振興部黒木次長様、秋田市商工部商工労働課細谷課長様、国立大学法人秋田大学玉本副学長様を含め58名の皆様に参加いただきました。

講演会では、Taipei Computer Association 駐日代表の吉村章氏から「台湾は欧米・アジアビジネス展開のゲートウェイ」と題し、日本と異なる世界のビジネスマナー及び自社の強みを世界へストレートに伝えることの大切さ、福祿寿酒造株式会社代表取締役の渡邊康衛氏から「Shangri-la 誰も体験したことのない

未知なる味わい!!」と題し、美味しいお酒を造り広めるために、秋田の若手蔵元たちが挑戦したNext5工程リレー方式の醸造経験を聞き、秋田の情報産業の未来へのヒントをいただきました。

交流会では、初めて味わったフレッシュでジューシーなお酒「NEXT5 シャングリ・ラ」や福祿寿酒造様の袋吊り生酒「一白水生」を楽しむうち、ロジザードの山田課長の司会進行で恒例のビンゴ大会がスタートしました。ご来賓の方が1等と2等を獲得すると、会員も負けじと興奮する楽しい一時となりました。ロジザードの山田課長、初めての交流会デビューお疲れ様でした。

総務企画委員長 菅原 晟

第5回理事会開催される



議長の近藤和生会長

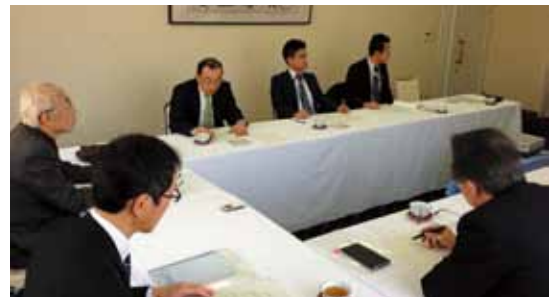
3月24日(月曜日)アキタパークホテルにおいて、第5回理事会が開催されました。議題については第1号平成25年度の決算(見通し)について、第2号平成26年度事業計画(案)及び予算案について、第3号平成28年度ANIA秋田大会招致の検討についてでした。

まず最初に事務局より今年一年の活動実績報告がありました。公益目的事業(普及啓発委員会)、地域情報化の推進及び情報産業発展の事業(事業構想委員会)、公益事業(人材育成委員会)、情報収集活動(事務局、理事)それぞれ当初の計画通り進みました。大きく違ったのは人材育成委員会のセミナーの開催ですが、会員のニーズ調査を行い、要望に沿ったテーマで、26年度に反映させていくということで、今年度は開催しませんでした。又、特別事

項としまして、普及啓発委員会のソフト大賞が20回の記念開催なので、ユニークな賞を決めて協賛企業に商品の提供などをお願いして大成功に終わりました。

決算見通しは、収入に対して支出も予定通りの執行となっている。一般社団法人2年目としての予算案も、今年度実績を見ながら作成された案が承認されました。

第3号議案の全国大会招致については、第3回理事会にて「3月の理事会にて、前回秋田大会の開催実績(費用、作業、協力者リスト)、他県でのデータを基に、改めて検討する」ということにより、今回の理事会にて検討された。それにより、4月早々に会長と副会長で、前向きに検討をして、次回の理事会には報告するという結論が出て、すべての議事は終了しました。



理事会風景

委員会報告

普及啓発委員会 委員長 石田 吉行

今年度は、ソフト大賞の20回記念特別企画を協議するため定期的に委員会を開催しました。メーカー協賛、表彰式、作品展示と初めての企画が多く準備も大変でしたが、事務局はじめ委員会メンバーの協力により無事に終了することができました。また、1月に開催した新春講演会も大変盛況でした。各イベントにご協力頂いた皆様に心から感謝いたします。来年度も会員同士の交流を深め、活発な委員会活動を行っていきたいと思います。

総務企画委員会 委員長 菅原 晟

東日本大震災から3年を迎えるということもあり、藤里町『ゆとりあ藤里』支配人白土延子さんが震災当時から行っている、被災地への未使用絵葉書贈呈を当協会として支援することとし、当委員会から会員の皆様にご協力をお願いしたところ、当初の予測を上回る152枚が集まり、4月以降、白土さんを通じて被災地の皆様へお届けする運びとなりました。ささやかですが、はがきの絵柄を楽しんだり、離れ離れになった家族や友人との文通にご利用いただくことで、何かの支えになればと思います。

白土さんは、釜石出身ですが、全国からすでに2千枚以上の未使用の絵葉書を釜石の仮設住宅に住む被災者の皆さんに送っており、どうぞ文通を通じて心を癒していただきたい、未使用の絵はがき提供は誰にでも出来る支援なので地道に続けたいとお話しております。

第2次締切は過ぎましたが、残念ながらまだ必要量は集まっておりません。どうぞ、ご主



事務局に集まった絵はがき

旨ご理解の上、社員の方々共々ご協力をお願いいたします。まだまだ、この支援は継続いたしますので、各社取りまとめた上で秋情協事務局宛にご送付願います。

なお、平成26年度は当委員会主導にて、協会設立30周年記念事業の検討委員会を立ち上げますので、皆様のご協力、どうぞよろしく願います。

人材育成委員会 委員長 菅原 恵悦

平成26年2月4日(火曜日)産業技術センターにて、第2回人材育成委員会の会議を開催しました。内容については平成26年度の活動計画ですが、①新入社員教育に関して②技術研修に関して③セミナーに関して等でありました。新入社員教育は今年度4月7日～4月24日まで6コースを、また技術研修は5月12日～6月27日まで5コースを予定しております。また、技術研修に関しては、昨年来進めておりますアンケートの結果をふまえ、最新IT技術研修やITスキルアップ研修、人材開発研修、業種業務研修等を計画して参ります。今後会員にはメール等でご連絡することとしております。

事業構想委員会 委員長 沢井 良一

秋田県は、平成26年度からの4年間「中小企業振興条例」、「秋田県情報産業振興基本戦略」に基づき、「ICT地産地消推進」、「大規模マーケット開拓」、「秋田のイノベーション推進」の3つの分野に取り組む地域ITベンダーの支援を新たに開始します。当委員会は、会員企業が今後の方向性を検討できるよう、総務省と県内自治体が本格的に取り組み始めた「自治体システムの共同化」及び経産省が支援する「海外展開支援・販売力強化支援」に関連するテーマで、11月と1月に「地域連携セミナー」を開催しました。

年度毎の具体的施策については、「秋田県ICT推進会議」などを通じて、当委員会から県商業貿易課と情報企画課へ提案することで両課の了承をいただきました。来年度も引き続き、会員の取組みの参考になる地域連携セミナー、県との情報交換を開催します。

「第20回秋田県ソフト大賞」決まる

秋田県教育庁及び各報道機関の後援を受け、「第20回秋田県ソフト大賞」(課題:「未来一夢のアイデア」コンテスト)応募作品の審査委員会が秋田公立美術大学の五十嵐潤教授を審査委員長として、平成26年2月17日アキタパークホテルに於いて開催されました。

今年は全県31の小・中学校から730点の応募がありました。作品はどれも力作揃いで審査員を悩ませました。八郎潟町立八郎潟中学校1年の吉田茜さんの作品「アニマルボイス」が最優秀賞に輝きました。他に最優秀賞の候補作品の中から審査員特別賞4点、優秀賞5点、入賞30点が選出されました。

また、1994年の第1回目以降、最も優れた成績を取めた参加校及び児童生徒の皆様年第20回記念特別表彰を行うことを決定しました。

審査員からは毎年の審査会に参加して、子供らしさが感じられる作品を選考することは楽しい悩みである、社会規範にとらわれない発想の自由度、ふるさとを大事にしていくアイデア、親の背中を見て現実的に社会を見ている「秋田っ子」の真面目な姿に驚かされる。ウェアラブルなデバイスやセンサーが入っているアイデアもあり、地域のものづくりの可能性も見えてくる。また、鉛筆一本で描かれていてもアイデアが光っているもの、アイデアがまとまっていてよく表現されているものもある。本大会はまさに各校児童・生徒が自分で考える場・表現する場であり、将来の秋田県を背負っていく人材の育成に寄与しており、親として・地域の大人として子供たちのモチベーションをあげるサポートをしていきたい、今後も継続しての開催を希望するといった感想・意見がありました。

審査委員長 秋田公立美術大学
教授 五十嵐 潤 氏
審査委員 秋田県企画振興部情報企画課
課長 佐藤 雅彦 氏
審査委員 秋田県総合教育センター
主任指導主事 夏井 博実 氏
審査委員 株式会社秋田魁新報社 報道部
次長 菊池 史利 氏
審査委員 一般社団法人秋田県情報産業協会
会長 近藤 和生 氏

最優秀賞

八郎潟町立八郎潟中学校1年
吉田 茜さん



第20回秋田県ソフト大賞入賞者

	学校名	氏名	学年	作品名
最優秀賞	八郎潟町立八郎潟中学校	吉田 茜	1	アニマルボイス
審査員特別賞	大仙市立藤木小学校	佐々木 美月	6	音 発 電
審査員特別賞	秋田大学教育文化学部附属中学校	小松 瑞季	1	お 助 け カ ー ト
審査員特別賞	秋 田 市 立 八 橋 小 学 校	金 真 凜	2	ほんものぬり絵
審査員特別賞	秋 田 市 立 明 徳 小 学 校	佐々木 望来	4	ヘッドホンカメラ
優 秀 賞	秋 田 市 立 明 徳 小 学 校	信 太 心	4	治りょう戦車ロボット
優 秀 賞	大仙市立西仙北小学校	菅原 美咲	6	眼(アイ)カメラ
優 秀 賞	八峰町立水沢小学校	斉藤 美羽	6	はなうたスピーカー
優 秀 賞	由利本荘市立由利中学校	熊谷 龍	2	点字音読グローブ
優 秀 賞	由利本荘市立由利中学校	熊谷 優雅	2	商 品 投 影 機

第20回記念特別表彰

(最優秀賞部門) 最多受賞校	八峰町立八森小学校	7回受賞
(優秀賞部門) 最多受賞校	能代市立崇徳小学校	11回受賞
(応募点数部門) 最多応募校	飯島南小学校	1,847作品
(連続参加部門) 最多連続校	能代市立崇徳小学校	20年連続
(個人部門) 最優秀賞 最多受賞者	熊谷 あやね	2回受賞

● 審査員特別賞

佐々木 美月さん



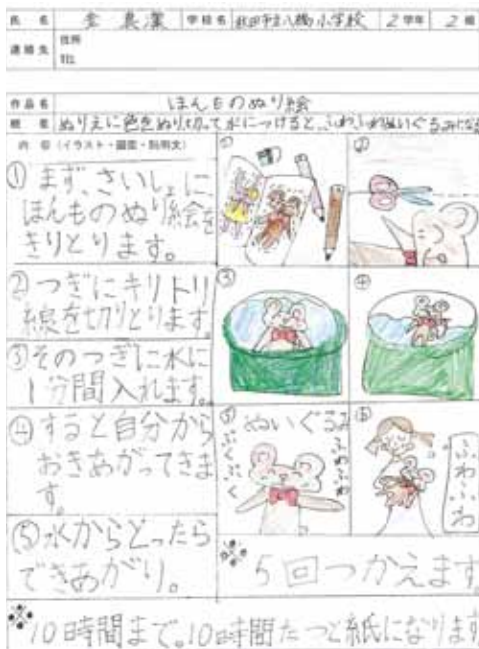
● 審査員特別賞

小松 瑞季さん



● 審査員特別賞

金 真凜さん



● 審査員特別賞

佐々木 望来さん



第23回秋田県情報産業協会親睦ボウリング大会開催



さる2月21日(金)秋田市中通のボウルジャンボ秋田(旧金萬ボウリングセンター)にて、恒例となりました親睦ボウリング大会が行われました。

今年度は14社58名の方に参加戴き、熱戦が繰り広げられました。

団体戦では、秋田印刷製本株式会社Aチームが、AV158で堂々の5連覇を果たしました。2位はAV140で土田社長率いる株式会社日情秋田システムズチームが、3位はAV139で秋田印刷製本株式会社Bチームという結果でした。

個人成績では男子は株式会社日情秋田システムズの太田司様がスコア376で優勝、女子は秋田印刷製本株式会社の高橋枝理子様がスコア290で優勝致しました。

今年度は一昨年と同じ58名の参加を戴き、盛況の内に幕を閉じた親睦ボウリング大会でした。団体戦では秋田印刷製本株式会社様の5連覇が続いておりますが、来年度もより熱い戦いとなることを期待するとともに、協会内の親睦を深めるためにも、会員皆様のご参加を心よりお待ちしております。

副会長 吉田 進

部門	順位	氏 名	所 属
女性部門	優勝	高橋枝理子	秋田印刷製本株式会社
	2位	進藤 誠子	秋田印刷製本株式会社
	3位	若狭亜希奈	エイテイエイ富士システム株式会社
男性部門	優勝	太田 司	株式会社日情秋田システムズ
	2位	小林 光晴	秋田印刷製本株式会社
	3位	佐々木浩二	秋田印刷製本株式会社
ハイゲーム賞	女性	進藤 誠子(151)	秋田印刷製本株式会社
	男性	太田 司(194)	株式会社日情秋田システムズ
ラッキー賞	23位	佐藤 誠	株式会社アキタシステムマネジメント
プービー賞	57位	佐々木隆浩	合同会社大町ギルド
ハイレン賞	優勝	秋田印刷製本株式会社 A	
	2位	株式会社日情秋田システムズ	
	3位	秋田印刷製本株式会社 B	
	4位	東光コンピュータサービス株式会社	
	5位	株式会社アキタシステムマネジメント	



団体優勝の秋田印刷製本(株) A チーム



男女優勝 左・高橋枝理子さん 右・太田司さん

編集後記

ソチオリンピック&パラリンピックが閉幕しました。秋田県出身選手4人は上位入賞こそ逃しましたが、よく頑張ったと思います。

この4人に加えて、ソチで秋田県出身と言えば、大統領公邸でプーチン大統領と一緒に安倍首相を出迎えた秋田犬の「ゆめ」でした。「ゆめ」は平成24年に秋田県の佐竹知事がプーチン大統領に贈った秋田犬です。選手だけでなく、秋田県出身の「ゆめ」が、国際的な舞台に元気に登場した姿を見て、秋田県出身者として大変うれしく思いました。

(発行人)

(一社)秋田県情報産業協会

会長 近藤 和生

(編集責任者)

(一社)秋田県情報産業協会

総務企画委員長 菅原 晟

(印刷所)

(株)くまがい印刷

(発行日)

平成26年3月31日